

# オートクレーブ対応カメラシステム

## MH-STP01 撮影設定手順書

当手順書では、MH-STP01 を使用した際の撮影設定に関する一般的な手順をご案内いたします。

### 【使い方手順（初期設定）】

- ① カメラ底部にあるロックノブ(1)、開閉ノブ(2)を順に矢印の方向にスライドしてロックを解除し、電池蓋を開けます。



- ② バッテリーと SD カードを TG-6 に入れます。



- ③ 開閉ノブ(1)、ロックノブ(2) を順に矢印の方向にスライドして閉じます。



- ④ レンズリング取り外しボタンを押しながらレンズリングを左に回転させて取り外します。

初回のみ

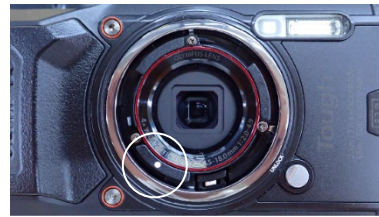


- ⑤ 同梱の反射防止リングのマークの位置を確認します。

初回のみ



- ⑥ カメラ側のマークと先ほどの反射防止リングのマークの位置を合わせ差し込みます。 初回のみ



- ⑦ 反射防止リングを右に回転させて装着します。

初回のみ



- ⑧ 電源を入れて、日付と時間を設定します。 初回のみ



- ⑨ LOG レバーのオフを確認します。



## 【使い方手順（初期設定以外）】

⑩ バッテリー残量を確認します。



⑪ 撮影可能枚数を確認します。



⑫ 「顕微鏡モード」に設定します。

※環境によってお使い分けください。



⑬ シャッターを半押しし、撮影可能な状態に戻します。

右ボタンを押し、「フラッシュ」の設定をします。

左右ボタンで「発光禁止」を選択します。

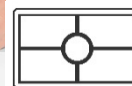


←「発光禁止」マーク

⑭ シャッターを半押しし、撮影可能な状態に戻します。

OK ボタンを押し、上下ボタンで「測光」を選択します。

左右ボタンで測光方式を「ESP」「スポット」から選択します。



「ESP」マーク



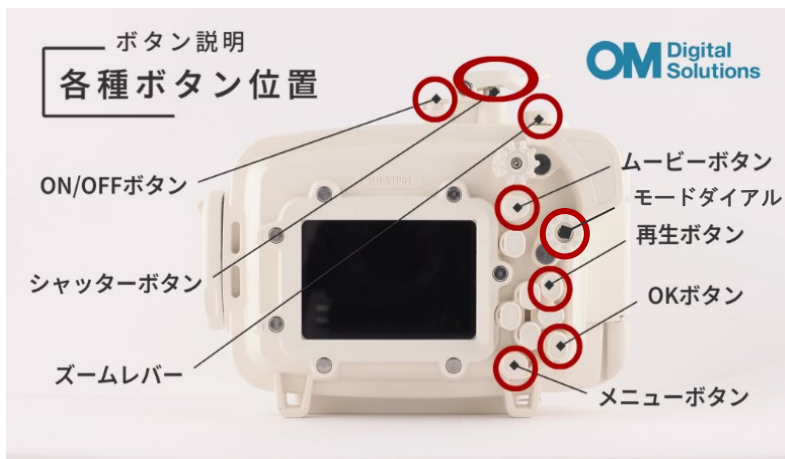
「スポット」マーク

測光の方式による違いについては、

【撮影モードと測光方式による映り方の違い】

にて、ご説明しております。

## 【各種ボタン位置/操作】



シャッターレバーを半押しで焦点を合わせ、

全押しでシャッターを切ります。



再生ボタンで撮影した写真を見ることができます。

また、ズームレバーで写真の拡大撮影も可能です。



### 【撮影モードと測光方式による映り方の違い】

TG-6には、PモードやAモード、顕微鏡モードや水中撮影モードなどの被写体や環境に合わせた様々な撮影モードを搭載しております。術野撮影にお勧めしている「Pモード」と「顕微鏡モード」、測光方式の「ESP測光」と「スポット測光」による違いは以下の通りです。環境に合わせて設定を変更ください。

#### ■モードダイヤル選択：モードダイヤルから選べます。

Pモード：被写体の明るさに応じて、最適な絞り値、シャッター速度、ISO感度をカメラが自動的に設定するモード。

撮影範囲：T（近接） / W（広大）：10 cm ～ ∞

顕微鏡モード：被写体に1 cmまで接近して撮影できるモード。

撮影範囲：T（近接） / W（広大）：1 cm ～ 30 cm

#### ■測光方式選択：OKボタンを押し、上下ボタンで「測光」を選択します。

ESP測光：画面の全体を分割し、光を測定して適切な露出で撮影する設定。

※撮影領域全体の明るさで露出を最適化します。

スポット測光：画面の中心部を重点的に測光し、周りが明るい場合や中央の暗い部分などの露出を適正にする設定。

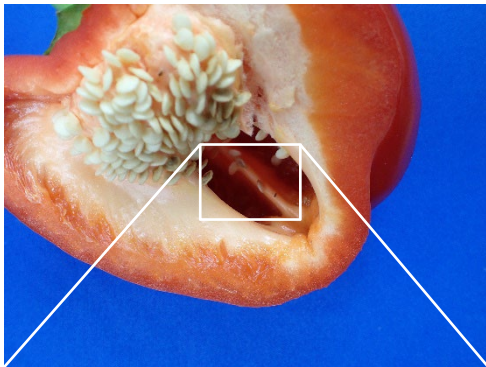
※全体の明るさに左右されず、スポット枠部分の明るさに合わせて露出を調整します。

画面の中心部（写したい部分）での白飛びや、黒つぶれを防ぎやすくなります。

撮影領域全体の明るさが、影や照明などにより大きく差が出ている環境で有効です。

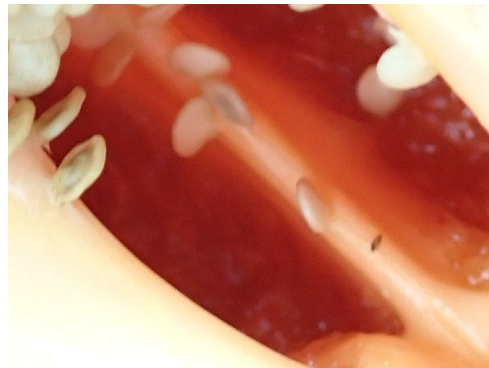
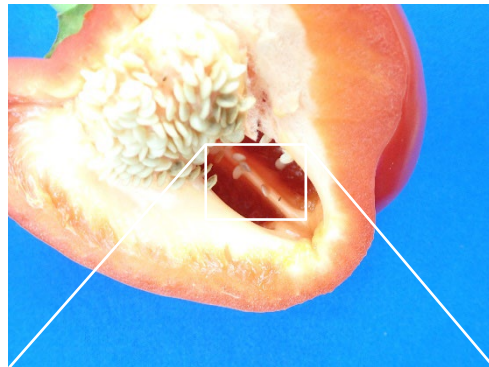
#### ESP 測光

全体の露出を最適にしているため、  
被写体全体を綺麗に撮影する際に最適。

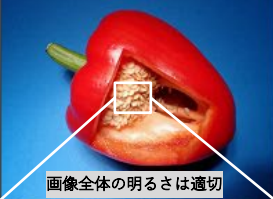
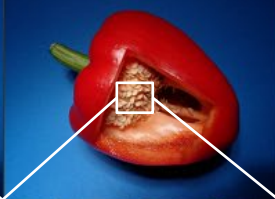
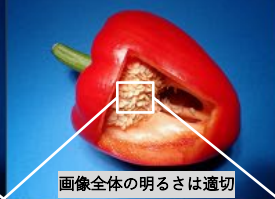
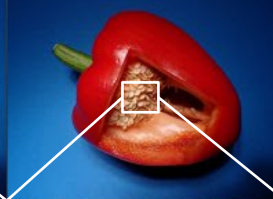




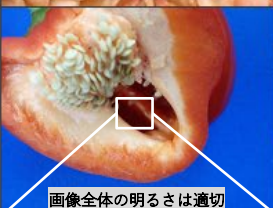

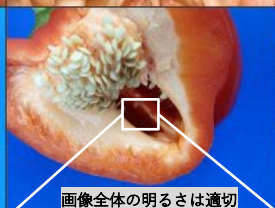

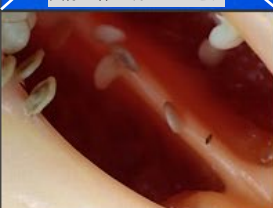


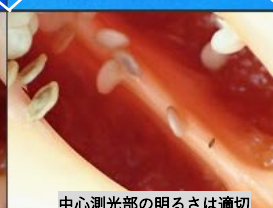




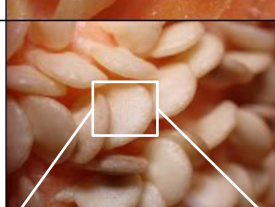





#### スポット測光

画面の中心部の露出を最適にしているため、  
明暗差のある中心部を綺麗に撮影する際に最適。



■撮影モード、測光方式比較写真

撮影モード	Pモード	Pモード	顕微鏡モード	顕微鏡モード
測光方式	ESP測光 全体の明るさに合わせて調光	スポット測光 中央部の明るさに合わせて調光	ESP測光 全体の明るさに合わせて調光	スポット測光 中央部の明るさに合わせて調光
遠景撮影	 画像全体の明るさは適切	 中心測光部の明るさは適切	 画像全体の明るさは適切	 中心測光部の明るさは適切
遠景撮影 拡大時		 中心測光部の明るさは適切		 中心測光部の明るさは適切
近接撮影	 画像全体の明るさは適切	 中心測光部の明るさは適切	 画像全体の明るさは適切	 中心測光部の明るさは適切
近接撮影 拡大時		 中心測光部の明るさは適切		 中心測光部の明るさは適切
マクロ撮影1 (被写体から約5cm+ 望遠端にズーム)	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞	 中心測光部の明るさは適切	 中心測光部の明るさは適切
マクロ撮影1 拡大時	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞		
マクロ撮影2 (被写体から約2cm+ 望遠端にズーム)	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞	 中心測光部の明るさは適切	 中心測光部の明るさは適切
マクロ撮影2 拡大時	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞	撮影不可 撮影可能範囲：10cm～∞		

## 【深度合成について】

顕微鏡モードには、通常の顕微鏡モードに加え、深度合成モードも搭載しております。深度合成モードとは、カメラが自動的にピント位置をずらした複数枚の画像を撮影し、それらを合成した被写界深度の深い画像を記録するモードです。

深度合成なし



深度合成あり



### ■深度合成の設定方法

モードダイヤルを「顕微鏡モード」に変更すると、「顕微鏡」「深度合成」「フォーカス BKT」「顕微鏡コントロール」の4つの機能が選択できます。そこから、「深度合成」を選択することで設定ができます。

※顕微鏡モード時は左ボタンでも、設定画面を呼び出せます。



<ご参考：使い方動画 URL>

### ■使い方動画 ～装着と撮影編～ (3:32)



0:06 セット方法

1:10 撮影方法



### ■使い方動画 ～準備編～ (4:32)



0:58 初期設定

2:38:オートクレープ滅菌方法



お問い合わせ先：ご購入販売店もしくは OM デジタルソリューションズ株式会社 新事業開発室 までご連絡ください。

〒192-0033 東京都八王子市高倉町 49-3 電話: 042-642-5309 メールアドレス: [biz-info@om-digitalsolutions.com](mailto:biz-info@om-digitalsolutions.com)